

標題 : 能登半島地震の災害対応・救援にあたる職員の健康管理・メンタルヘルス対策について (その3)

発信番号 : 自治労情報2024第0016号
発信日付 : 2024年1月26日
宛先 (団体) :
宛先 : 各県本部委員長様
送信者 (団体) : 全日本自治団体労働組合
送信者 : 中央執行委員長 石上 千博

連日の取り組みに敬意を表します。

自治労情報2024第12号にて、能登半島地震の災害対応・救援にあたる職員の健康管理・メンタルヘルス対策として、組合員にむけた資料「惨事ストレスとメンタルケア 災害支援参加のあなたへ必読書」「1000時間後のあなたへ 必読書」の第3版を送付させていただきましたが、再度一部修正しましたので、改めて送付させていただきます。

(本発文にも添付していますが、ファイル管理の「自治労本部作成資料」—「各局作成資料」—「総合労働局」—「労安関係」の中に掲載しています)

監修を務めていただきました立木茂雄同志社大学教授が、先日、石川県輪島市に行かれまして、資料の2頁目にあります「被災から復興の流れ」の100時間～1000時間について、阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震と異なり、①脆弱な被災者が被災地外に広域避難している、②外部からのボランティアが奥能登地域については交通網・宿泊先のボトルネックのために被災地で活動ができていないという状況であることを確認されたとのこと。そのため、100時～1000時間について、被害の激しかった奥能登地域では「被災者同士が助け合って連帯感が高まる『災害ユートピア』期」は始まっていないことですので、この部分についての記載を「全国から応援要員が被災地に集結し、被災者との連帯感が高まる『緊急社会システム』期」と修正させていただきました。

県本部・単組は、この修正版の資料をご活用いただけますよう、よろしく願いいたします。

添付ファイル :
【一括版】惨事ストレスとメンタルケア (2024年1月_0125修正版) .pdf
【一括版】1000時間後のあなたへ (2024年1月_0125修正版) .pdf